

【参考】

表紙部分には岩国白蛇神社等を採用、切手部分には「岩国のシロヘビ」を採用。

●フレーム切手『天然記念物「岩国のシロヘビ」』

天然記念物「岩国のシロヘビ」

元文3年(1738年)発見 岩邑年代記より 指定:大正13年12月9日(昭和47年8月4日指定替え)



国の天然記念物「岩国のシロヘビ」は、文化財として貴重な国民的財産で大切に保存することを義務づけられており、また、出来るだけ公開して、その学術的価値の認識を広めねばなりません。そのために、諸施設を設置して一般の観覧に供しています。

屋外施設でふ化した幼蛇を、屋内施設に收容し、生後3年まで人工的に飼育管理をします。成長したシロヘビは、再び屋外施設に放飼し、自然に近い環境の中で、保護増殖を図っています。

岩国市民のシロヘビに寄せる愛着は深く、住みつけば瑞兆と喜ばれ、福運金運の神の使いとして、崇蛇の遺風が伝えられています。



宇賀弁財天像



岩見屋錦舟書「癸巳」

白蛇飼育場



目はルビー色

白蛇飼育場



白蛇と松

NIPPON 80

白蛇飼育場



放飼場

白蛇飼育場



屋内飼育場

白蛇飼育場



白壁

白蛇飼育場



産卵

NIPPON 80

白蛇飼育場



岩国白蛇神社

白蛇飼育場



白蛇御神幸

NIPPON 80



澄川喜一作 御神像

○ 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。

○ 写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。

○ 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

△原印刷株式会社製 印刷